



2021年12月20日

各位

会社名 株式会社ワットマン
代表者名 代表取締役社長 川畑泰史
(JASDAQ・コード9927)
お問合せ先 取締役経理 IRグループ長 渡邊 匡
(TEL:045-959-1100)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていない事から、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており株主数については基準を充たしておりません。当社は2024年3月期末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	373人	6,397単位	16.58億円	56.2%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に 記載の項目	○			

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容 (基本方針)

当社は、(課題)に記載の通り事業規模および時価総額が比較的小型であることが株主数の基準を充たさない原因であるとの認識のもと、中長期的な企業価値向上に資する施策を果敢に推進する事により中期的な企業価値及び時価総額の向上を通じて株主数のスタンダード市場上場維持基準適合を目指してまいります。

(課題)

現時点でスタンダード市場上場維持基準のうち「株主数」が基準を充たさない主要な原因および課題として、当社の事業規模・時価総額が比較的小型かつ単元株価が比較的高いため追加的株主を受入れる余地が少ない事が考えられます。

(取組内容)

当社は持続的な事業規模の拡大によって中長期的な企業価値向上および時価総額の増大を図り、投資対象としての魅力と追加的株主の受入れ余地を増大させ株主数増加に努めてまいります。持続的な事業規模拡大に向け、従前より進めているオーガニック成長戦略を通じた利益構造改革を引き続き推進するとともに、今期からはインオーガニックとしてホビーサーチ事業の成長を戦略に付加し、両面から中期的な企業価値の向上を図ります。

オーガニック成長戦略

コア事業（総合リユース事業）・スピンオフ事業・海外事業の3つから構成される成長戦略。
基盤構築フェーズを経て利益構造改革が順調に進捗しており、引き続き生産性の向上に努める。
安定成長しつつ、共通費を除く営業利益率20%を目指す

インオーガニック成長戦略

2021年7月に子会社化したホビーサーチ事業の成長戦略。
まずは喫緊課題の解決後、早期に成長に向けた舵取り。年間売上高30%以上の成長を目指す。

成長戦略の詳細については、2021年11月26日発表の「2022年3月期 第2四半期 決算説明会資料」をご参照ください。

また、単元株価を下げるために有効と考えられる資本政策を必要に応じて適時実施する方針です。併せてこれらの取組においては、市場環境・当社株価等の状況を見極め、株主各位への影響を慎重に考慮し、市場を混乱させないように実行致します。なお、上記取組が重要事項に該当する場合は適時に情報開示します。

以上